

東海日本語ネットワークの取組

名古屋市内の外国人住民（日本語教室に通っていない成人）の 学習ニーズ調査について～中間報告～ [概要]

○はじめに

1990年の出入国管理及び難民認定法の改正に伴い、東海地方では中南米を中心とする日系人が急増した。その影響を受け、ボランティアが運営する地域日本語教室も開設されてきた。社会的背景により一時的に減少したものの、近年は新しい在留資格の創設や成立をうけ、更に外国人が増加していくと考えられる。しかし、教室に参加する外国人の変化や目的の多様化への対応に悩む日本語教室は数多く存在する。また、かつて地域日本語教室の中心的参加者だった日系人が教室に参加していないという現実もある。

本調査は言語が堪能で外国人コミュニティにつながりをもつ調査員と社会調査や日本語教育の専門家の協働で実施し、日本語教室に通っていない名古屋市在住・在勤の外国人が望む日本語教室の姿を探ることを目的とした。

○昨年度の予備調査

(1) 名古屋市のオープンデータより

- ・区別在留資格別外国人数→留学生、高度人材を除く（技能実習？）
→日本語学習が必要な外国人数が多いのは港区に次いで中区

(2) 愛知県国際交流協会の日本語教室調査より

- ・日本語教室がない空白区が6つある
- ・日本語教室は中区に集中
- ・開催日時の選択肢が少ない

(3) 日本語教室に通っている学習者対象のアンケート調査より

- ・30分以内に通っている学習者が多い
- ・女性の割合が多く、在留資格別では日本人の配偶者等、家族滞在が多い

○今年度の本調査の結果と調査員の見解

(1) 名古屋市内の日本語教室に通っていない外国人（成人）の学習ニーズ調査

身分による在留資格と技能（=留学生・高度人材・技能実習以外）を主な対象に言語別のバイリンガル調査員による半構造化聞き取り調査を実施

- ・日本語教室に通っていない理由：
仕事や子育てに忙しい、時間が合わない、日本語教室の存在を知らない
- ・通いたい日本語教室の条件：
時間や場所などの開催条件が合う、無料である、学びたいことが学べる

(2) 日本語ボランティアシンポジウム2019における調査員によるパネルトーク

- ・SNSや外国人コミュニティを活用した日本語教室情報の周知
- ・日本語学習に消極的な外国人住民の意識改革

日本語ボランティア研修 2019～開かれた地域社会をめざして～

第8回 お話を聞く会

外国につながる子どもの教育



講師：小島祥美（愛知淑徳大学准教授）

公立小学校に勤めていた時、私は初めて外国につながる児童たちと出会いました。「この子たちが暮らしやすい社会にしたい！」と、決意してから四半世紀。たくさんの方々との出会いのなかで、できることには全力で取り組んできましたが、同時に、つらいことや苦しいことも、たくさんありました。だから、2019年度は「多文化共生政策」の政策議論が始まった「元年」と、とても感じます。

当日は、教育分野の課題を整理しながら、私たちが暮らす東海地域で取り組むべきことについて、皆さんと意見交換をしたいと思います。気軽に、ご参加ください！

- 日 時 : 2020年2月8日(土)
午後1時30分～午後3時00分
- 場 所 : 名古屋国際センター 3階 第2研修室
- 対 象 : 日本語ボランティアおよびその活動に興味のある方
- 定 員 : 50名
- 参 加 費 : 東海日本語ネットワーク会員 無料 / 一般 500円
- 申 込 込 込 : 不要
- 質 問 受 付 : 講師へのご質問は、一ヶ月前までに下記 URL からお送りください。
時間の都合等により全てのご質問にはお答えできない場合があります。
<http://tnnjp.com/form01.html>
- 問 合 せ 先 : 名古屋国際センター交流協力課
TEL 052-581-5689 FAX 052-581-5629

*****  *****

《次回予告》 お話を聞く会 3月14日(土) 13:30-15:00

テーマ：対話型活動と「はじめての日本語教室」

講師：伊藤クリスティーナ（Bri Asia 合同会社 代表）

★「東海日本語ネットワーク（TNN）」は日本語ボランティアの連絡組織です。主に、愛知・三重・岐阜・静岡の各県で活動を展開しているボランティアグループとボランティア個人が会員になっています。★この事業は TNN が、名古屋市の指定管理を受けている NIC との共催で行っています。★TNNでは、昨年度に続き、名古屋国際センター(NIC)の共催を得て、一般の方々にも参加していただける「日本語ボランティア研修 2019 開かれた地域社会をめざして」を開催します。★現在、ボランティアとして活動している方、これから関わろうと考えている方を対象に、広く日本語ボランティア活動に関する学習・交流の場を提供し、外国人住民と共生する地域社会のあり方を考えていきたいと思っております。★研修会は、8月と、12月に開催される「日本語ボランティアシンポジウム」とその準備の11月を除き、毎月行います。

日本語ボランティア研修 2019～開かれた地域社会をめざして～

第9回 お話を聞く会

対話型活動と「はじめての日本語教室」



講師：伊藤クリスティーナ（Bri Asia 合同会社 代表）

14歳の時、親の都合で来日し日本の中学校に編入しました。日本語が全く分からない中、存在意義と居場所を探すことに必死で、勇気を振り絞り日本人に話しかけ、話したいことを伝えようと思いました。その小さな一歩が、気が付けば覚えたい日本語が飛び交う環境に導いてくれ、日本語を習得させてくれたと思います。こうした実体験から、対話の重要性を認識し、“対話型の日本語教育を広めたい”と決意しました。

外国人自身も対話を通じて話したいことが伝えられるようになり、居場所を見つけることが、多文化共生社会実現の第一歩になると考えています。お気楽にご参加下さい！

日 時：2020年3月14日（土）

午後1時30分～午後3時00分

場 所：名古屋国際センター 3階 第2研修室

対 象：日本語ボランティアおよびその活動に興味のある方

定 員：50名

参 加 費：東海日本語ネットワーク会員 無料 / 一般 500円

申 込 込 込：不要

質 問 受 付：講師へのご質問は、一ヶ月前までに下記 URL からお送りください。
時間の都合等により全てのご質問にはお答えできない場合があります。

<http://tnnjp.com/form01.html>

問 合 せ 先：名古屋国際センター交流協力課

TEL 052-581-5689 FAX 052-581-5629



《次回予告》 お話を聞く会 4月11日（土）13:30-15:00

テーマ：「外国人受入れ制度と現状」

講師：鳥井一平（NPO 法人 移住者と連携する全国ネットワーク）

★「東海日本語ネットワーク（TNN）」は日本語ボランティアの連絡組織です。主に、愛知・三重・岐阜・静岡の各県で活動を展開しているボランティアグループとボランティア個人が会員になっています。★この事業は TNN が、名古屋市の指定管理を受けている NIC との共催で行っています。★TNNでは、昨年度に続き、名古屋国際センター（NIC）の共催を得て、一般の方々にも参加していただける「日本語ボランティア研修 2019 開かれた地域社会をめざして」を開催します。★現在、ボランティアとして活動している方、これから関わろうと考えている方を対象に、広く日本語ボランティア活動に関する学習・交流の場を提供し、外国人住民と共生する地域社会のあり方を考えていきたいと思っております。★研修会は、8月と、12月に開催される「日本語ボランティアシンポジウム」とその準備の11月を除き、毎月行います。